

## 略歴

昭和49年生まれ。大分県出身。47歳。金沢区富岡東在住。妻と2女の4人家族。平成9年、創価大学法学部卒業。平成15年、米国・ワイオミング大学大学院 公共政策学 修士課程修了。大手物流会社を経て、平成27年4月、横浜市議員に初当選、現在2期目。



## 令和4年度予算編成に向けた要望書を提出

### 【コロナによる修学旅行キャンセル料の公費負担も要望】

10月22日の本会議最終日に、来年度に向けた公明党市議団の予算要望書を市長へ提出。現場の課題、多くの切実な市民の声を踏まえた425項目を、しっかりと受け止めた予算編成を要望。併せて、コロナ禍で中止になった修学旅行のキャンセル料を公費で負担して頂くよう、教育長へ要望しました。



## 安心安全の学校生活、教育環境の充実へ!

### 決算特別委員会の 論戦より

10月13日の決算特別委員会では、公明党市議団を代表して、横浜市の教育施策と重要課題を巡って質疑を行いました。以下、抜粋してご報告します。



### 通学路の安全対策

通学路の安全確保へ、個別の安全対策に加えて交通安全の視点を踏まえたまちづくりなど、中長期的な対策が推進されることを要望致します。また、「横断歩道でクルマが止まらない」という声も多く、警察とも連携して、横断歩道に特化したドライバーへの啓発・取り締まりなども検討頂きたいと思います。

### 学校でのコロナ対策

再拡大を見据え、引き続きしっかりと感染症対策を講じる必要があります。特に若い世代の中には、コロナ感染症への認識の不足から「接種の必要性を感じない」という方、ネットでのさまざまなデマ情報に触れて接種をためらう方も多く見られます。学校においても、コロナ感染症やワクチン接種の効果に関する正しい情報発信を強化すべきです。

### 運動器検診

側わん症やその他のスポーツ障害の早期発見につながる、小中学校での運動器検診を充実すべきです。

#### 教育長答弁

今年度、栄区の中学校6校でモデル実施しましたが、来年度は小学校14校も含めた栄区内の全市立小中学校に対象を拡大して実施します。

### 特別な配慮が必要な児童生徒への支援充実へ

個別支援級・通級指導の体制充実とともに、全教職員の専門性向上を図るべきです。

#### 教育長答弁

通級担当の教員による巡回指導を順次拡大します。また特別支援学校教諭免許の取得助成とともに、全市立学校で校内研修を行っています。

### 横浜市会インターネット中継もご覧ください

質問の詳細は、市会ホームページでもご覧になれます。  
<https://gikaichukei.city.yokohama.lg.jp/>



### 学校における医療的ケア

医療的ケアが必要な児童生徒が安心して充実した学校生活を送れるよう、さらに取り組みの充実を図るべきです。

#### 教育長答弁

一般学校・特別支援学校に配置する看護師の増員を進めています。引き続き人材確保・育成や医療機関との連携を通じて、高度化する医療的ケアへの対応充実を目指します。

### 1人1台端末の活用で個別の学びの充実へ

弱視や外国人の児童生徒などに対してカスタマイズ可能なデジタル教科書の積極的な導入・活用を図るべきです。

#### 担当部長答弁

モデル実施の効果や課題を検証し、より質の高い教育に資する取り組みを推進します。

不登校やひきこもりの生徒の学習機会の確保・充実へ、端末の活用を進めるべきです。

#### 担当部長答弁

今年度からオンライン学習教材を活用した家庭学習、「アットホームスタディ事業」をスタートしました。支援の充実につながる改善を進めながら、利用促進を図っていきます。



## 中学校給食について

最大で全生徒数の30%まで供給できる設計でスタートしましたが、初年度の喫食率が既に20%を超え、来年度は早くも30%を上回る見込みです。利用を希望する生徒に確実に給食を提供できるよう、供給体制の強化を図るべきです。



### 教育長答弁

事業者の工夫・協力を頂きながら、現状の供給量の2倍(=喫食率40%)まで対応できるようにし、安心安全な給食を確実に提供できるようにします。

## 《主張》 市長の目指す「全員喫食」に反対!

現在の選択制デリバリー型給食は、わずか数年前に実施した生徒・保護者・教職員へのアンケート結果による「選択制が良い」という多数意見を踏まえて実施しているものです。また議会での長年の議論を経て、土地・敷地の確保の課題、費用対効果という観点、全市一律に提供できるという観点からも、現在のデリバリー型給食が横浜市にとって最適な手法だとすでに結論が出ています。

市長が表明した再検討は新たな予算や関係者の負担も要し、現在の利用者や事業者に不安を与えることとなります。実現に向けた具体的なプランや財源の裏付けがない「全員喫食」について議論するのではなく、現在の給食の利用促進にこそ力を注ぐべきです。

## 震災被害・原発事故を風化させない、風評被害を生まない取組み

東日本大震災の被災地に寄り添い、震災被害・原発事故を風化させない、また風評被害を生まないために、公明党の提案で平成29年から実施している福島への教員研修派遣を充実・継続すべきです。

### 教育長答弁

コロナ禍により現地交流が難しい中でも動画などを活用した研修を実施し、オンラインでの交流も予定しています。これからも福島との交流を大切に、研修や教育活動を実施していきます。



▲平成29年3月に公明党市議団で福島県環境創造センターを視察。同センターの教員研修派遣活用を提案しました。

## 短信

# 「市民の皆さまと共に」



### リレーフォーライフ

ガン患者・ご家族の皆さまを支援する全国的なキャンペーン。横浜市では10月2日に臨港パークで開催し、公明党市議団の有志で、ガンと闘う皆さまに想いを馳せながら園内を行進しました。



### ビーチクリーン@海の公園

10月3日は地元ライオンズクラブの奉仕活動で、海の公園の清掃と花壇の手入れ。秋晴れの空の下、潮風に吹かれながらの作業は爽快でした。



### 金沢区内の催事も順次再開へ

コロナ感染の減少により9月30日に緊急事態宣言が解除。感染症対策を行いながら区内の様々な催事も順次再開されています。10月3日は金沢民謡協会の「民謡のつどい」、23日は金沢区吟剣詩武道連盟の大会に出席しました。



▲民謡のつどい



▲金沢区吟剣詩武道大会

